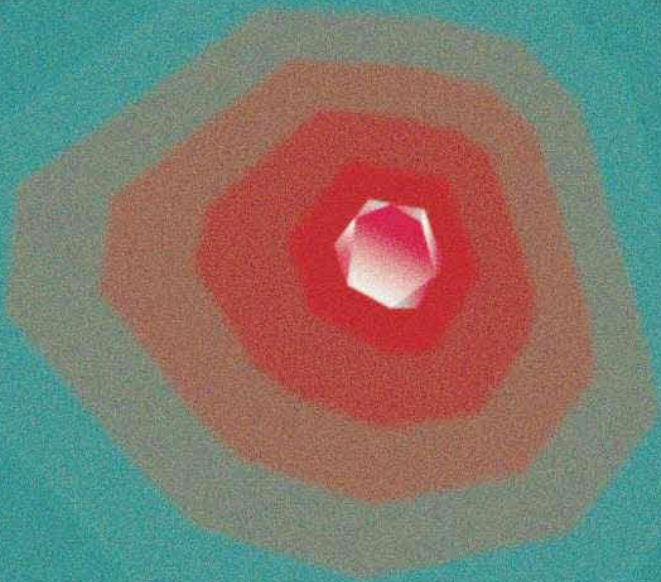


MATSUE OPEN SOURCE
BUSINESS
PLAN
CONTEST
2024



ア
イ
デ
イ
ア
を
カ
タ
チ
に

募集期間
2024.
1.9 TUE
12:00まで

最終審査会
2024.
2.17 SAT
13:00～
場所:松江テルサ4F 大会議室

学生向けイベント

「チャレンジャー1DAY合同合宿」開催!

「ビジネスプランコンテスト」×「MIX※1」×「みらチャレ※2」×「ものチャレ※3」の合同開催

チャレンジする学生たちと起業を志す社会人(MIXメンバー)が同じ場所に集い、交流しながら
各々のやってみたいことに自由に取り組む合同合宿。同志とともにアイデアを形にしよう。

※1「MIX」: 松江で挑戦する人たちが気軽に参加できるパブリックコミュニティ。※2「みらチャレ」: 「SHIMANEみらい共創CHALLENGE」(令和5年7月～令和6年12月)高校生(もしくはそれに準ずる年齢の方)を対象に10万円の活動支援金を使ってひとりひとりの
やってみたいを実現するためのプロジェクト。(TSKグループ基金さんいん未来創人・(一財)地域・教育活性化プラットフォーム主催)※3「ものチャレ」: 「しまね高校生ものづくりチャレンジ」(令和5年7月～令和6年2月)島根県の「ものづくり」に興味のある高校・高専の
学生を対象(安来・松江・出雲エリア)とした、ものづくり支援プロジェクト。「資金20万円を使って、自分が作ってみたいもの・生活で欲しいもの等を作成し、社会の中でどう価値づけていくのか、など「起業」についても学ぶことができる」(島根大学主催)

【問合せ】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局 Tel:0852・60・7101 担当:種野/曾田 〒690-0816 松江市北蔵町1番地 (松江市産業経済部まっし産業支援センター内) E-mail: oss-contest@city.matsue.lg.jp

【主催】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会(構成:しまねOSS協議会、松江市)

【後援】島根県、公益財団法人しまね産業振興財団、国立大学法人島根大学、独立行政法人国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校、株式会社日本政策金融公庫松江支店、株式会社山陰合同銀行、MATSUE起業エコシステムコンソーシアム

【特別協賛】株式会社インターネットイニシアティブ、一般財団法人ごうぎん財団

2023.
第1回 8.9 WED 9:00～
2023.
第2回 11.5 SUN 9:00～
場所:松江オープンソースラボ 申し込みはコチラから



松江オープンソース活用 ビジネスプランコンテストとは？

松江市では、オープンソースのプログラミング言語「Ruby」を松江市の重要な資源と位置づけ、産学官による産業振興施策「Ruby City MATSUE プロジェクト」を推進しています。同プロジェクトの一環として、オープンソースによる地域振興の中心を担う「しまね OSS 協議会」と松江市は、今年度第16回目となる「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト」を開催します。本コンテストは、IT 業界にとどまらず幅広い分野の人達にオープンソースの情報を広く提供し、オープンソースを活用するプランをアイデアから形にすることで、オープンソースを活用した新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的とします。本コンテストを通じ、松江市が「Ruby と OSS のまち」としての存在感が高まり、応募プラン・受賞プランが企業等とのマッチングの機会となることで、具体的なビジネス化へ向けた動きとなることに期待します。

ビジネス活用部門

最優秀賞 賞金 **20万円**
(1名・団体)

優秀賞 賞金 **5万円**
(1名・団体)

※原則として、個人(一般)での応募とし、3人までのチームの応募も可能です。

学生部門

最優秀賞 賞金 **5万円**
(1名・団体)

優秀賞 賞金 **3万円**
(1名・団体)

※学生(中学生以上)が対象。個人もしくはグループ・団体での応募とし、グループ・団体の人数は問いません。

応募方法

ホームページより所定のプラン用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、「しまね電子申請サービス(松江市)」よりご応募ください。(左記、電子申請サービス(松江市)からもプラン用紙をダウンロード可能です)

しまね電子
申請サービス



HP



コンテストの流れ

一次審査: 2024年1月9日の募集締切後に、応募書類をもとに審査。

最終審査: 一次審査通過者は最終審査会(2024年2月17日)に進みます。ビジネスプランを発表いただき、審査します。

審査委員

審査委員長 井上 浩 しまねOSS協議会 会長

審査委員 井上 亮 株式会社山陰合同銀行 地域振興部長

上定 昭仁 松江市長

大場 寧子 株式会社万葉 代表取締役社長CEO

北村 功 一般社団法人島根県情報産業協会 副会長

中村 建助 株式会社日経BP 技術プロダクツユニット 編集委員

野津 和也 株式会社スマートスタイル 取締役副社長執行役員

土岐田 尚也 株式会社インターネットイニシアティブ クラウド本部 サービス統括部 副部長

森 正弥 デロイトトーマツコンサルティング合同会社 執行役員

昨年の受賞者からのメッセージ

2023年 ビジネス活用部門



最優秀賞受賞

角田 徹

(Grand Closet)

私たちは、StartupWeekendという起業体験イベントで出会ったメンバーでチームをつくりました。施設に入っているおばあちゃんにおしゃれを楽しんでもらいたいという身近にあった課題を、高齢者向けファッションのサブスクリプションサービスとしてアイデアを組み立てて応募しました。自分たちが考える「良いもの」が、多くの人の目からみてどう評価されるかを知ることのできる場合は、とても貴重です。ぜひ自身のアイデアを発信し、第一線で活躍されている審査員の方々のフィードバックを受けるチャンスを活用してください!

2023年 学生部門



最優秀賞受賞

チーム

Koekake

(鳥根大学)

大学の授業と並行して応募を進められることや識者の方々の前でプランを紹介することで、今後にも必ず生きるフィードバックが得られることから応募しました。後期高齢者や身体障害者に対し、携帯電話の専用アプリケーションを用いて、緊急時に近隣住民が救助に向かうというサービスのプランを作成しました。行政に協力を仰ぎ、利用者を一括管理し、消防や警察を介さない新しいサービスで、簡単な画面遷移で利用しやすいように工夫しました。コンテストを通じて、様々な方と親睦を深める事ができ自身のキャリア設計に大きく影響を与えたと言っても過言ではありません。今、皆さんそれぞれが感じる松江をより良くしたいとするエネルギーを応募、発表を通じて発信していただければと思います!

過去の受賞事例は
こちらからご確認
ください。

